

# 保健管理報告

第 2 0 号

2020（令和 2）～2021（令和 3）年度

神戸親和女子大学

保健室・学生相談室

## ごあいさつ

保健管理報告第 20 号を発刊するに当たり関係各位に深く御礼申し上げます。また、平素より保健室、学生相談室、学校医の先生方には学生の充実した学生生活や、教職員の職務遂行がなされるよう尽力いただき、まことに感謝いたします。

さて、前回の報告書では新型コロナウイルスの感染が世界中に広まり、社会的側面や健康の側面などに多大なダメージを与えたという点に言及しました。この間、ワクチンの開発、普及、接種が進んだこともあり、経済活動をはじめ、社会のあらゆる活動が少しずつ再開されはじめています。本学でも 2022 年度は原則対面授業を行い学生同士がキャンパスで交流する姿が多くみられるようになりました。引き続き感染対策を行っておりますが学生たちも協力的で、各人がマナーを守った上でキャンパス内での交流を行っているようです。この間の感染対策の重要性が理解され習慣化されたことが関係しているのかもしれませんが、いずれにしても、他者を思いやる気づかいが現れた行動といえるでしょう。

依然としてウィルスの問題はあるものの完全に克服するというよりは、うまく向き合っていくという世の中の流れがあり、本学もそれに準じていると考えることもできます。つまり、このことは学生、教職員が創意工夫することにより学業や課外活動といった大学での活動を行っていく必要があるということです。

この大学での活動について一つ着目したい知見があります。前回の報告書 19 号の情報によると、学生相談室の利用状況については 2018 年度から 2019 年度で減少したが、相談内容の主訴は、「自身の性格」、「心身の健康状態」、「人間関係」が多くを占め、年度間で変化はありませんでした。新型コロナウイルスの影響で、上記の項目の変化はいかようであったのか大変気になります。緊急事態宣言が発出されるなどしたこの約 2 年間では、コミュニティづくりに大変苦労したという話を学生のみならず教職員からもよく耳にします。また、学生の学びは担保されたのでしょうか。

他方で、自宅から授業を受けることができるということは通学時間を別の作業に充てることができます。オンデマンドの授業では理解を深めるためにビデオ映像を何でも見返すことができます。また、気の許せる仲間と気軽に音声、映像での通信を行うことができます。このようにわたしたちはテクノロジーの恩恵も受けてきたはずですが、これらの点についても改めて評価がなされ、よりよい学内活動へ向けての改善が期待されます。

以上を踏まえると、大学における保健管理は本学にかかわるあらゆる人たちの健康管理に焦点を当てたものですが、少なくともここ数年は上記で指摘したようなウィルスが与える心身の影響について注視する必要があるでしょう。今回の報告書にあるような情報を適切に活用し健康管理に活かすことが望まれます。

2022 年 秋  
学生担当部長 杉山 真人

# 目 次

ごあいさつ

I	学生健康診断の実施について	1
II	学生定期健康診断受診状況及び結果	2
	1. 定期健康診断学年・学科別受診状況	
	2. 内科診察結果	
	3. 胸部X線撮影結果	
	4. 心電図検査結果	
	5. 最高血圧数値別人数	
	6. 身長平均値	
	7. 体重平均値	
	8. 各項目要所見者・精密者数	
	9. 総合判定	
III	学生健康調査項目別統計	8
IV	教職員定期健康診断	9
	1. 受診状況	
	2. 受診者年齢構成	
	3. 総合判定区分	
	4. 検診所見	
V	ストレスチェック	17
VI	保健室利用状況	18
	1. 主訴別	
	2. 学年別	
	3. 学科別	
VII	健康診断証明書	20
VIII	新型コロナウイルス感染症の調査状況	21
IX	学生相談室	22
	1. 学生相談室活動報告	
	2. 学生相談室の利用状況について	
	3. 考察および今後の課題	

## I 学生健康診断の実施について

本学では、毎年学校保健安全法に従って定期健康診断を行っており、兵庫県健康財団に委託し実施している。受検項目は表1のとおりで、心電図は1年次、院生1年は全員、他の学年は前年度の結果や診察結果などで必要と思われる者に行っている。また、問診は学生の心身における自覚症状の有無や現病歴・既往歴等の把握のため、設問を2020年度より一部変更した。健康調査表（P.8-9参照）に沿って看護師や保健師が聞き取りを行い、内科診察や保健指導に役立っている。

受診率は約98～99%で、未受検者に対しては医療機関で受診した健康診断結果の提出を促している。また、有所見者には医療機関への受診勧奨を行い、精密検査や治療を必要と判断する学生には精密検査依頼書を発行している。

健康診断受検項目（○は受検を必要とするもの）

表1

	身長	体重	胸部 X線	内科 診察	血圧	尿検査	視力	聴力	心電図	健康 調査
1年次	○	○	○	○	○	○			○	○
2年次	○	○	○	○	○	○			有所見者	○
3年次	○	○	○	○	○	○			有所見者	○
4年次	○	○	○	○	○	○	○	○	有所見者	○
院M1	○	○	○	○	○	○			○	○
院M2	○	○	○	○	○	○	○	○	有所見者	○

## II 学生定期健康診断受診状況及び結果

### 1. 定期健康診断学年・学科別受診状況

学年	学科	年度	児童教育	総合文化	心理	福祉臨床	ジュニアスポーツ教育	全学科
1年次	対象数	2020年	202	81	71		67	421
		2021年	151	39	47		50	287
	実施数	2020年	202	72	71		65	410
		2021年	151	38	47		50	286
	未受検者数	2020年	0	9	0		2	11
		2021年	0	1	0		0	1
	受診率(%)	2020年	100	89	100		97	97
		2021年	100	97	100		100	100
2年次	対象数	2020年	208	53	47		61	369
		2021年	197	70	69		64	400
	実施数	2020年	205	52	43		61	361
		2021年	197	66	68		64	395
	未受検者数	2020年	3	1	4		0	8
		2021年	1	0	4		0	5
	受診率(%)	2020年	97.4	98.6	98.1		100.0	97.8
		2021年	99.7	100.0	94.3		100.0	98.8
3年次	対象数	2020年	214	50	48	21	77	410
		2021年	202	54	46		58	360
	実施数	2020年	213	45	45	21	76	400
		2021年	202	51	46		58	357
	未受検者数	2020年	1	5	3	0	1	10
		2021年	0	3	0		0	3
	受診率(%)	2020年	99.5	90.0	93.8	100.0	98.7	97.6
		2021年	100.0	98.8	100.0		100.0	99.2
4年次	対象数	2020年	267	58	47	34	81	487
		2021年	217	57	51	21	76	422
	実施数	2020年	262	54	46	31	80	473
		2021年	216	53	49	21	76	415
	未受検者数	2020年	5	4	1	3	1	14
		2021年	1	4	2	0	0	7
	受診率(%)	2020年	98.1	93.1	97.9	91.2	99	97.1
		2021年	99.5	93.0	96.1	100.0	100.0	98.3
全学年	対象数	2020年	891	242	213	55	286	1,687
		2021年	767	220	213	21	248	1,469
	実施数	2020年	882	223	205	52	282	1,644
		2021年	766	208	210	21	248	1,453
	未受検者数	2020年	9	19	8	3	4	43
		2021年	2	8	6	0	0	16
	受診率(%)	2020年	99.0	92.1	96.2	94.5	98.6	97.5
		2021年	99.9	94.5	98.6	100.0	100.0	98.9

学年		年度	院生全体
院生 (M1)	対象数	2020年	13
		2021年	18
	実施数	2020年	13
		2021年	18
	未受検者数	2020年	0
		2021年	0
	受診率(%)	2020年	100.0
		2021年	100.0
院生 (M2)	対象数	2020年	47
		2021年	38
	実施数	2020年	37
		2021年	33
	未受検者数	2020年	10
		2021年	7
	受診率(%)	2020年	78.7
		2021年	86.8

※2019年度より福祉臨床学科 新規募集は終了

学年		年度	院生全体
科目等履修	対象数	2020年	0
		2021年	0
	実施数	2020年	0
		2021年	0
	未受検者数	2020年	0
		2021年	0
	受診率(%)	2020年	0.0
		2021年	0.0

※科目等履修生 2020・2021年度において健診対象者なし

2. 内科診察結果

所見	年度	
	2020	2021
甲状腺腫	0	0
皮膚病変	1	0
貧血症状	8	2
リンパ節腫大	0	0
心音異常・心雑音	12	13
不整脈	12	4
耳鼻科疾患 疑	0	0
整形外科疾患 疑	0	0
自覚症状強い	0	0
その他	1	3
呼吸音異常	1	0
甲状腺機能低下	0	0
甲状腺機能亢進	0	0
甲状腺疾患・疑	33	43
乳腺所見	1	0
甲状腺疾患・疑/不整脈	0	1
合計	69	66

4. 心電図検査結果

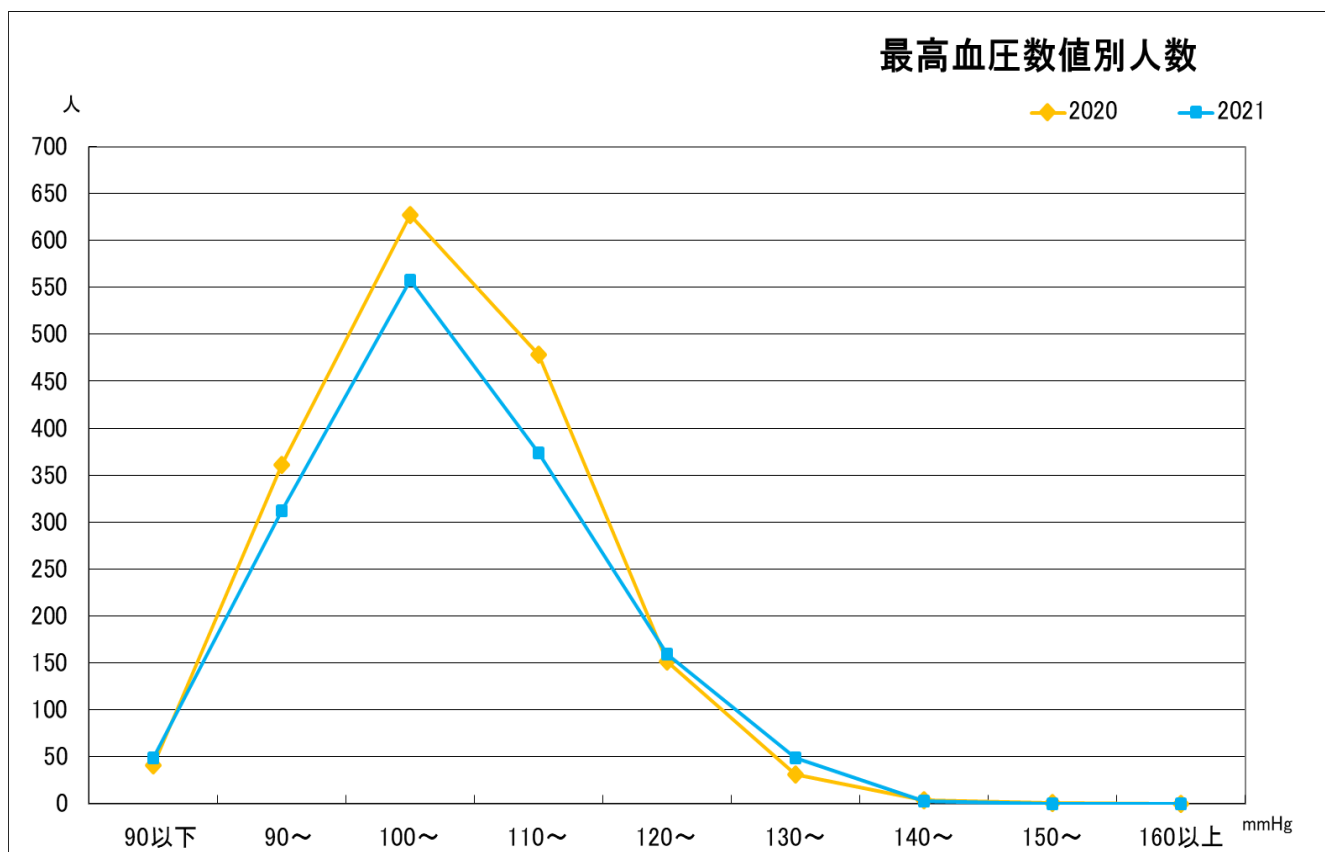
所見	年度	
	2020	2021
洞性不整脈	3	1
洞性徐脈	8	5
洞性頻脈	19	13
上室性期外収縮	3	2
右軸偏位	5	3
左軸偏位	4	3
ST低下	2	0
I度房室ブロック	3	3
完全右脚ブロック	3	4
反時計回転	1	0
右室伝導遅延	2	0
心室性期外収縮	4	4
WPW症候群	2	2
T波異常	4	3
不完全右脚ブロック	4	2
R波増高不良・減高	3	0
QSパターン	1	2
ST上昇	1	0
右室伝導遅延	0	1
低電位(四肢誘導)	0	1
異常Q波・疑	0	1
QT延長	0	1
合計	72	51

3. 胸部X線撮影結果

所見	年度	
	2020	2021
脊柱側彎症	53	35
石灰化影	0	0
治癒陰影	1	1
心・縦隔術後	2	2
胸膜癒着	0	1
横隔膜挙上	0	0
肺のう胞・プラ	1	0
浸潤状影	0	0
心拡大	0	0
肺門石灰化	0	0
異物	4	0
右側大動脈弓	0	1
気管異常・偏位	0	0
肋骨骨折痕	0	0
頸部異常	0	0
異物	0	3
合計	61	43

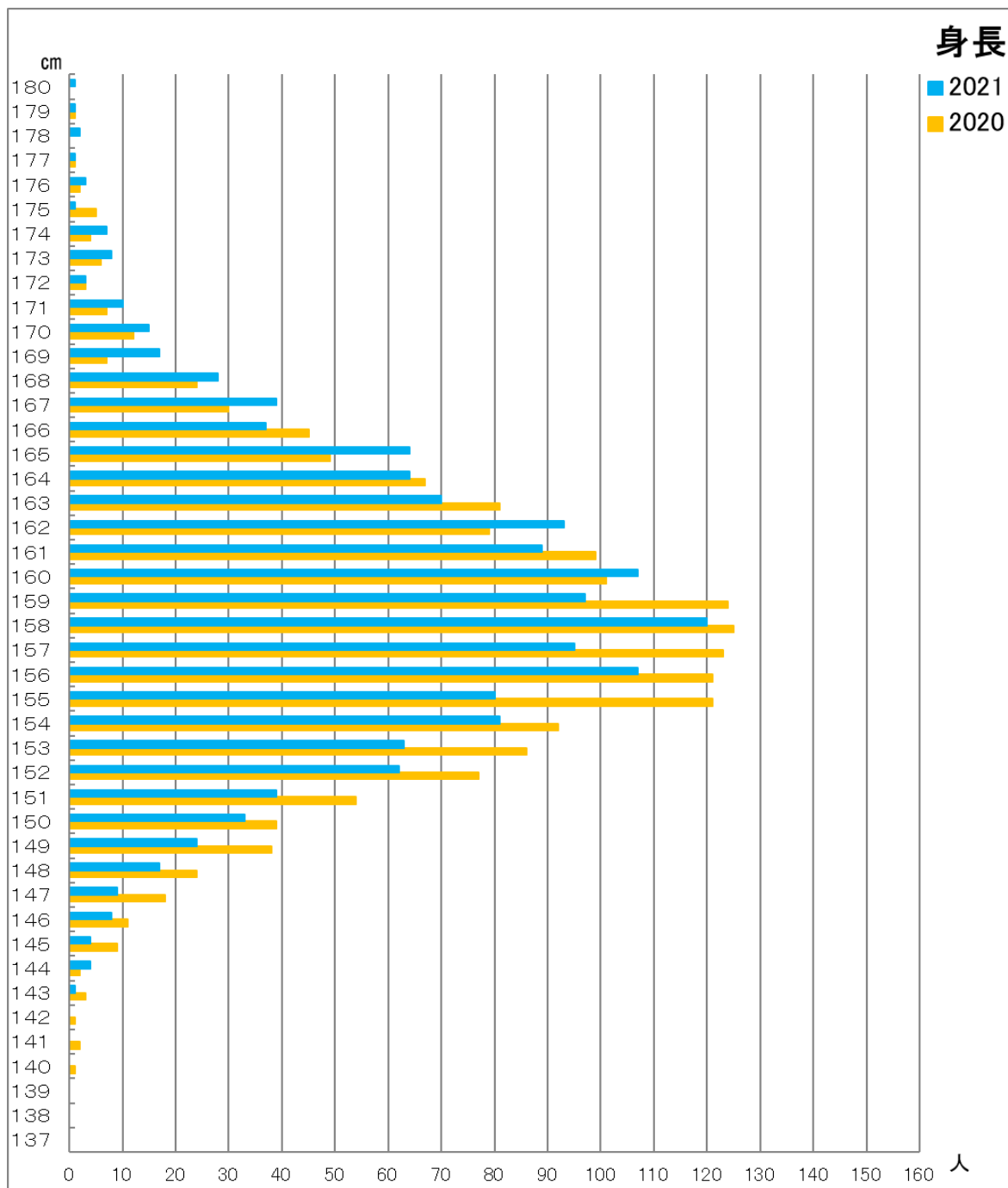
5. 最高血圧数値別人数

学年 年度	1年次		2年次		3年次		4年次		院生		科目等履修		合計	
	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年
160以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
150～	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
140～	0	0	1	0	1	1	2	1	0	1	0	0	4	3
130～	7	15	8	4	4	9	8	15	4	6	0	0	31	49
120～	36	48	30	42	33	29	46	35	6	5	0	0	151	159
110～	112	78	111	79	93	103	140	97	22	17	0	0	478	374
100～	182	102	124	158	136	125	177	160	8	13	0	0	627	558
90～	65	38	76	97	118	71	94	100	8	6	0	0	361	312
90以下	8	5	11	15	14	19	6	7	2	3	0	0	41	49
計	410	286	361	395	400	357	473	415	50	51	0	0	1694	1504



## 6.身長平均値

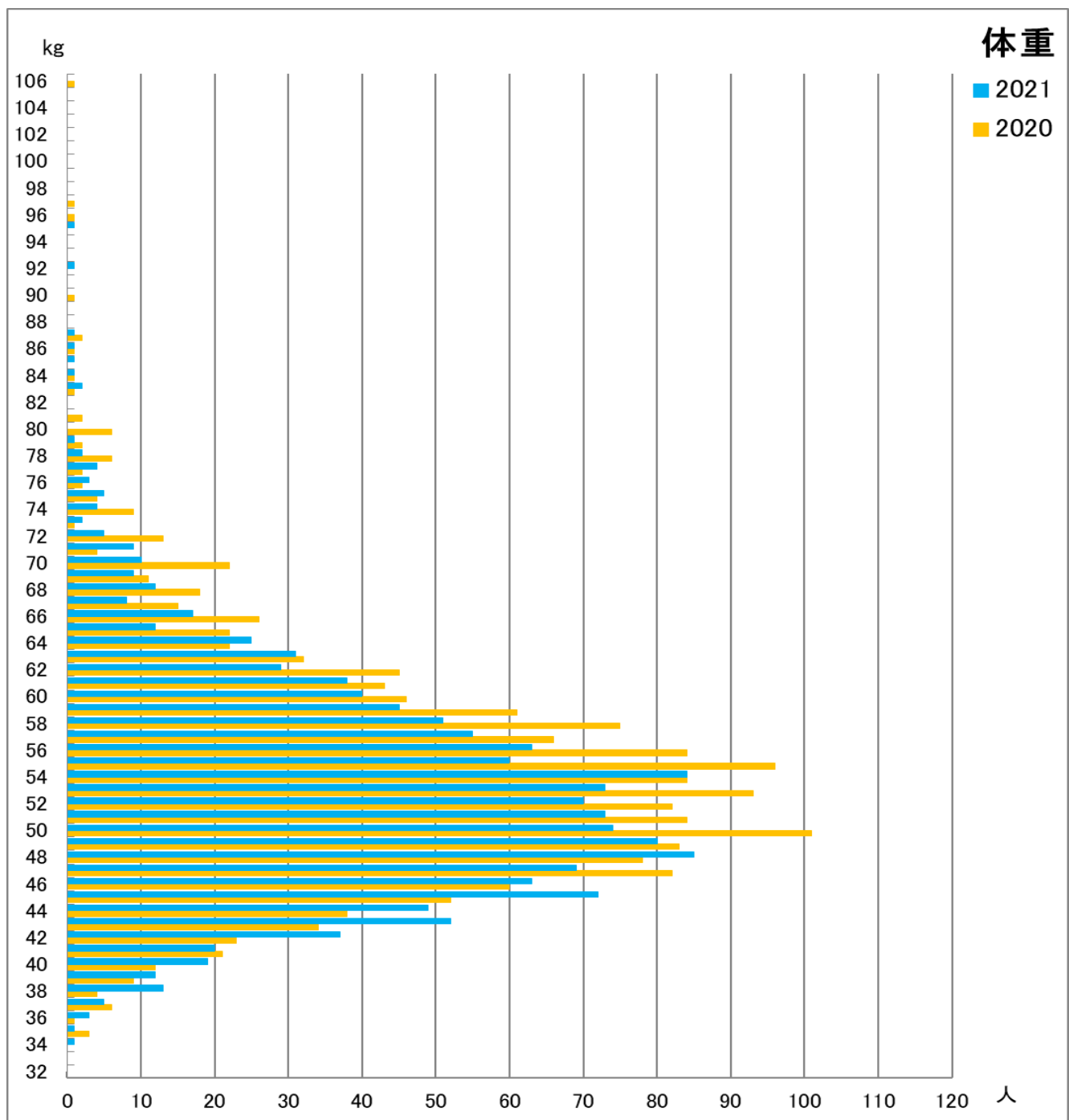
学年	1年次	2年次	3年次	4年次	院生	科目等履修生	平均
2020年度	157.4 cm	157.6 cm	158.1 cm	157.8 cm	162.0 cm	0.0 cm	157.9 cm
2021年度	157.9 cm	158.7 cm	158.7 cm	159.0 cm	163.5 cm	0.0 cm	158.8 cm





7. 体重平均值

学年	1年次	2年次	3年次	4年次	院生	科目等履修	平均
2020年度	53.3 kg	54.5 kg	54.5 kg	54.0 kg	57.9 kg	0 kg	54.2 kg
2021年度	53.2 kg	53.4 kg	53.7 kg	53.7 kg	58.2 kg	0 kg	53.7 kg



8. 項目別所見者、精密者数

学年 年度		1年次		2年次		3年次		4年次		院生		科目等履修		合計	
		2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年
胸部X線	有所見	21	4	22	7	6	13	11	14	0	4	0	0	60	42
	精密検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内科診察	有所見	9	10	17	10	17	16	23	28	1	2	0	0	67	66
	精密検査	0	4	0	1	0	3	0	10	0	0	0	0	0	18
血圧	有所見	1	1	1	1	2	2	4	2	1	1	0	0	9	7
	精密検査	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	2
検尿	有所見	57	0	27	4	35	6	34	11	0	0	0	0	153	33
	精密検査	12	1	13	3	15	4	8	1	0	1	0	0	48	12
聴力	有所見							8	4	1	1			9	5
	精密検査							8	1	1	0			9	1
心電図	有所見	34	19	16	9	3	10	9	5	3	3	0	0	65	46
	精密検査	1	1	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	4
計	有所見	122	34	83	31	63	47	89	64	6	11	0	0	363	187
	精密検査	13	6	15	4	15	10	17	14	1	1	0	0	61	35

※検尿について、検診当日検査で有所見者に対し後日再検査の実施を2021年度より再開

9. 総合判定

学年 年度		1年次		2年次		3年次		4年次		院生		科目等履修		合計	
		2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年	2020年	2021年
	異常なし	305	231	280	346	333	283	395	329	38	38	0	0	1351	1227
	略正常	33	23	26	14	21	26	22	27	5	7	0	0	107	97
	要観察	17	12	17	13	11	23	13	25	1	4	0	0	59	77
	要注意	40	14	18	11	19	15	31	21	3	1	0	0	111	62
	要精検	13	2	16	6	14	6	7	12	2	0	0	0	52	26
	要医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続加療	2	4	4	5	2	4	5	1	1	1	0	0	14	15
	要再検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	410	286	361	395	400	357	473	415	50	51	0	0	1694	1504

III. 学生健康調査項目別統計

項目	1年次		2年次		3年次		4年次		院生		科目等履修生		合計					
	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021				
1	1)瘦せてきた	いつも	1	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	5	0.3%	1	0.1%
		時々	4	0	2	1	3	2	4	1	0	0	0	0	13	0.8%	4	0.3%
	2)食欲がない	いつも	0	1	2	1	2	1	2	1	1	0	0	0	7	0.4%	4	0.3%
2	3)20歳のときの体から10キロ以增加している	時々	9	4	2	6	7	2	10	6	1	0	0	0	29	1.7%	18	1.2%
		時々	2	4	2	2	3	1	5	1	4	5	0	0	16	0.9%	13	0.9%
	貧血があるとと言われる	39	28	43	33	29	46	55	31	3	3	0	0	169	10.0%	141	9.4%	
3	1)下痢をよくする	いつも	3	2	2	2	4	0	2	3	0	0	0	0	11	0.6%	7	0.5%
		時々	11	5	6	9	9	2	5	4	2	0	0	0	33	1.9%	20	1.3%
	2)便秘をよくする	いつも	18	10	12	12	13	9	15	16	2	0	0	0	60	3.5%	47	3.1%
		時々	11	6	7	16	11	9	14	9	0	0	0	0	43	2.5%	40	2.7%
3)腹痛がある	いつも	4	2	1	4	0	1	1	0	0	0	0	0	6	0.4%	7	0.5%	
	時々	32	9	7	21	8	8	7	3	0	1	0	0	54	3.2%	42	2.8%	
4)お腹の張りがある	いつも	3	0	2	2	1	1	1	2	0	0	0	0	7	0.4%	5	0.3%	
	時々	9	2	1	8	2	7	9	4	0	0	0	0	21	1.2%	21	1.4%	
4	1)胃が重い	いつも	0	1	0	1	2	2	2	1	0	0	0	0	4	0.2%	5	0.3%
		時々	7	3	4	10	5	5	4	6	1	0	0	0	21	1.2%	24	1.6%
	2)吐き気がある	いつも	1	0	1	1	2	1	1	1	1	0	0	0	6	0.4%	3	0.2%
時々		9	4	3	4	5	1	7	5	1	0	0	0	25	1.5%	14	0.9%	
5	1)胃が痛む、空腹時	いつも	2	1	1	2	0	3	1	0	0	0	0	0	4	0.2%	6	0.4%
		時々	6	3	4	4	3	5	4	2	0	1	0	0	17	1.0%	15	1.0%
	2)胃が痛む、食後	いつも	3	1	0	3	1	0	0	2	0	0	0	0	4	0.2%	6	0.4%
		時々	4	3	2	1	4	6	2	1	2	0	0	0	14	0.8%	11	0.7%
3)胃が痛む、食事との時間とは無関係	いつも	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0.2%	1	0.1%	
	時々	3	0	1	2	2	1	3	3	0	1	0	0	9	0.5%	7	0.5%	
6	1)咳がよくでる	いつも	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.1%	1	0.1%
		時々	10	1	4	9	2	6	7	1	0	1	0	0	23	1.4%	18	1.2%
	2)痰がよくでる	いつも	0	0	0	2	1	1	3	1	0	0	0	0	4	0.2%	4	0.3%
時々		0	1	1	4	3	2	3	4	0	1	0	0	7	0.4%	12	0.8%	
7	1)息切れがする	いつも	0	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	0.1%	4	0.3%
		時々	3	0	5	4	5	3	1	6	0	0	0	0	14	0.8%	13	0.9%
	2)脈が不規則に打つ	いつも	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	1	0.1%
		時々	1	1	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	4	0.2%	3	0.2%
3)動悸がする	いつも	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	3	0.2%	
	時々	2	2	5	1	6	1	5	7	1	0	0	0	19	1.1%	11	0.7%	
4)胸が痛む	いつも	2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	0.1%	4	0.3%	
	時々	10	4	7	8	3	3	7	5	1	0	0	0	28	1.7%	20	1.3%	
8	1)腰痛がある	いつも	11	2	4	17	7	6	7	8	0	0	0	0	29	1.7%	33	2.2%
		時々	29	4	10	24	9	7	23	13	2	1	0	0	73	4.3%	49	3.3%
	2)関節が痛む	いつも	1	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0.2%	3	0.2%
		時々	0	0	2	5	4	1	0	1	1	0	0	0	7	0.4%	7	0.5%
3)肩がこる	いつも	24	12	16	23	27	23	38	21	1	3	0	0	106	6.3%	82	5.5%	
	時々	18	9	17	25	12	11	22	19	3	3	0	0	72	4.3%	67	4.5%	
9	1)頭痛がある	いつも	12	6	6	10	3	5	5	7	0	0	0	0	26	1.5%	28	1.9%
		時々	50	13	27	44	38	24	46	33	1	1	0	0	162	9.6%	115	7.6%
	2)めまいがする	いつも	6	2	6	4	2	3	5	4	0	0	0	0	19	1.1%	13	0.9%
		時々	36	9	19	21	22	12	22	11	1	0	0	0	100	5.9%	53	3.5%
3)耳鳴りがする	いつも	4	1	1	3	0	1	2	2	0	0	0	0	7	0.4%	7	0.5%	
	時々	21	7	8	16	14	7	18	8	2	0	0	0	63	3.7%	38	2.5%	

アレルギー	10	1)食物アレルギー	34	38	28	36	26	28	35	34	6	12	0	0	129	7.6%	148	9.8%	
		ある	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0.2%	1	0.1%	
		2)エビペンの有無	34	35	26	36	25	27	32	33	6	12	0	0	123	7.3%	143	9.5%	
		未回答	0	2	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	3	0.2%	4	0.3%	
	11	1)薬物アレルギー	6	0	5	6	5	5	9	7	1	2	0	0	26	1.5%	20	1.3%	
		ある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0%	
		2)エビペンの有無	6	0	5	6	4	5	9	7	1	2	0	0	25	1.5%	20	1.3%	
		未回答	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%	0	0%		
	12	1)その他アレルギー	45	23	28	45	35	42	47	44	8	6	0	0	163	9.6%	160	10.6%	
		ある	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1%	0	0%	
		2)エビペンの有無	42	18	27	42	27	37	46	40	8	6	0	0	150	8.9%	143	9.5%	
		未回答	3	5	0	3	8	5	1	4	0	0	0	12	0.7%	17	1.1%		
意識障害	13	1)目の前が暗くなって倒れた	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%	0	0%	
		2)気分不良で倒れた	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%	0	0%	
		3)気づいたら倒れていた	4	0	2	4	0	3	2	1	0	0	0	0	8	0.5%	8	0.5%	
	14	1)てんかん	2	1	2	3	2	2	5	3	0	0	0	0	11	0.6%	9	0.6%	
		治療中	1	0	1	2	1	1	4	2	0	0	0	0	7	0.4%	5	0.3%	
		2)治療状況	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	0	0%	
	放置	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	4	0.2%	4	0.3%		
	完治	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	4	0.2%	4	0.3%		
その他	15	1)生理痛がある	52	36	17	49	16	30	51	32	2	4	0	0	138	8.1%	151	10.0%	
		2)生理痛に対して常備薬がある	36	34	15	42	11	26	49	26	1	4	0	0	112	6.6%	132	8.8%	
		3)生理不順がある	20	20	8	23	9	18	20	15	1	6	0	0	58	3.4%	82	5.5%	
	16	1)身体障害者手帳を持っている	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1%	0	0%	
		2)精神障害者保健福祉手帳を持っている	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	0.2%	0	0%	
		3)療育手帳を持っている	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	1	0.1%	
	17	1)常備薬がある	54	40	39	60	38	45	69	44	5	10	0	0	205	12.1%	199	13.2%	
		定期	22	8	17	25	16	19	24	18	4	4	0	0	83	4.9%	74	4.9%	
		2)内服状況	30	28	22	32	17	19	41	21	1	5	0	0	111	6.6%	105	7.0%	
頓用		2	2	0	3	2	4	2	3	0	0	0	0	6	0.4%	12	0.8%		
	定期+頓用	0	2	0	0	3	2	2	2	0	1	0	0	5	0.3%	8	0.5%		
	未記入	0	2	0	0	3	3	2	2	0	1	0	0	5	0.3%	8	0.5%		
食生活と性格	18	1)朝食を抜くことが週に3回以上ある	128	61	136	125	158	135	159	163	18	16	0	0	599	35.4%	500	33.2%	
		2)就寝前の2時間以内に夕食を取ることが週に3回以上ある	91	72	96	125	95	105	106	96	12	6	0	0	400	23.6%	404	26.9%	
		3)朝昼夕の3食以外に間食を摂取している	毎日	47	40	51	60	42	49	58	60	6	4	0	0	204	12.0%	213	14.2%
			時々	294	200	240	298	283	251	322	298	30	31	0	0	1169	69.0%	1078	71.7%
		ほとんど摂取しない	61	48	61	43	66	57	74	58	10	13	0	0	272	16.1%	219	14.6%	
	19	1)喫煙の有無	吸っている	0	0	0	0	9	4	6	12	1	0	0	0	17	1.0%	16	1.1%
			吸っていない	400	288	351	401	382	353	444	404	41	47	0	0	1618	95.5%	1493	99.3%
			吸っていた	2	0	0	0	0	0	4	0	4	1	0	0	10	0.6%	1	0.1%
		2)お酒を飲む頻度	毎日	0	0	1	0	2	3	1	3	1	0	0	0	5	0.3%	6	0.4%
			時々	7	4	44	7	183	164	173	182	11	9	0	0	418	24.7%	366	24.3%
			ほとんど飲まない	395	284	307	394	206	190	280	231	34	39	0	0	1222	72.1%	1138	75.7%
			1)お酒の量	1合未満	109	63	151	126	226	258	181	275	28	19	0	0	695	41.0%	741
		1~2合未満	1	0	20	4	50	29	40	46	2	2	0	0	113	6.7%	81	5.4%	
		2~3合未満	0	0	3	1	11	9	17	15	0	0	0	0	31	1.8%	25	1.7%	
		3合以上	0	1	3	0	5	3	3	0	1	0	0	0	12	0.7%	4	0.3%	
	20	1)睡眠で十分休養がとれている	333	242	296	338	347	308	372	367	37	41	0	0	1385	81.8%	1296	86.2%	
		2)汗をかく運動を週2日以上1年以実施している	146	100	114	123	114	117	135	151	6	29	0	0	515	30.4%	520	34.6%	
	21	1)気分が落ち込んでいることが多い	48	27	42	49	36	35	50	38	4	3	0	0	180	10.6%	152	10.1%	
		2)コミュニケーションの取り方に悩むことが多い	83	43	72	83	42	52	47	41	33	9	0	0	277	16.4%	228	15.2%	
		3)自分の性格に悩むことが多い	111	63	105	102	239	84	94	82	3	11	0	0	552	32.6%	342	22.7%	
		4)困ったときに相談できる人がいる	376	255	303	373	326	318	388	375	38	42	0	0	1431	84.5%	1363	90.6%	
5)明るい気持ちで過ごせることが多い		338	198	279	332	322	289	363	345	32	37	0	0	1334	78.7%	1201	79.9%		

2020 年度 既往歴

喘息	呼吸器疾患	心臓疾患	糖尿病	肝臓・胆石・胆道疾患	胃・十二指腸潰瘍	腸閉塞・腹膜炎	婦人科疾患	腎臓疾患	泌尿器疾患	甲状腺疾患	整形外科疾患	眼科疾患	耳鼻科疾患	その他の病気
75	75	21	0	1	3	2	5	8	1	4	26	2	10	34

2020 年度 治療中の疾患

喘息	呼吸器疾患	心臓疾患	糖尿病	肝臓・胆石・胆道疾患	胃・十二指腸潰瘍	腸閉塞・腹膜炎	婦人科疾患	腎臓疾患	泌尿器疾患	甲状腺疾患	整形外科疾患	眼科疾患	耳鼻科疾患	その他の病気
21	22	9	2	1	0	0	12	3	0	7	9	1	11	60

2021 年度 既往歴

喘息	呼吸器疾患	心臓疾患	糖尿病	肝臓・胆石・胆道疾患	胃・十二指腸潰瘍	腸閉塞・腹膜炎	婦人科疾患	腎臓疾患	泌尿器疾患	甲状腺疾患	整形外科疾患	眼科疾患	耳鼻科疾患	その他の病気
73	85	17	0	1	2	1	3	13	0	3	26	1	14	42

2021 年度 治療中の疾患

喘息	呼吸器疾患	心臓病疾患	糖尿病	肝臓・胆石・胆道疾患	胃・十二指腸潰瘍	腸閉塞・腹膜炎	婦人科疾患	腎臓疾患	泌尿器疾患	甲状腺疾患	整形外科疾患	眼科疾患	耳鼻科疾患	その他の病気
24	17	7	2	0	0	0	24	1	0	12	11	0	12	45

## IV 教職員定期健康診断

教職員の定期健康診断は、年1回学校保健安全法および労働安全衛生規則に基づき2月から3月にかけて実施している。

兵庫県健康財団保健検診センターに委託しており、事前に受診希望日を募ったのち、検診センターと調整して受診している。実施内容は基本的な健康診断項目に加え、オプション検査が選択でき、希望者には健診日に追加で受診できるようにしている。

健診結果については委託業者の様式を活用し、各個人へ配布し、健康の保持増進に努めている。

また、人間ドック受診を希望される者に対しては、その結果を健康診断に振り替えることも可能としている。

### 1. 受診状況

(2020年度)

	教員	職員	全体
対象数	101	103	204
受検者数	94	97	191
未受検者数	7	6	13
受検者率(%)	93.1	94	93.6

(2021年度)

	教員	職員	全体
対象数	105	108	213
受検者数	99	103	202
未受検者数	6	5	11
受検者率(%)	94.3	95	94.8

### 2. 受診者の年齢構成

(2020年度)

	教員	職員	総計
19歳以下	1	0	1
20～29歳	13	10	23
30～39歳	13	20	33
40～49歳	14	22	36
50～59歳	10	34	44
60歳以上	43	11	54
総計	94	97	191

(2021年度)

	教員	職員	総計
19歳以下	0	0	0
20～29歳	16	9	25
30～39歳	9	15	24
40～49歳	17	27	44
50～59歳	13	33	46
60歳以上	44	19	63
総計	99	103	202

### 3. 総合判定区分

《2020年度教職員の健康診断結果》

法定項目 判定結果一覧(2020年度)												
教職員全体	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
総合判定	20	47	50	18	50	0	6	0	13	191	124	64.9
内科診察	186	0	4	0	0	1	0	0	13	191	5	2.6
聴力1KHz	184	0	6	0	0	0	0	0	14	190	6	3.2
聴力4KHz	182	0	8	0	0	0	0	0	14	190	8	4.2
胸部X線	152	30	3	0	3	0	1	0	15	189	7	3.7
血圧	144	22	1	16	6	0	2	0	13	191	25	13.1
貧血	141	28	16	0	6	0	0	0	13	191	22	11.5
肝機能	141	23	11	0	16	0	0	0	13	191	27	14.1
血中脂質	77	50	27	14	19	0	4	0	13	191	64	33.5
血糖	140	26	15	1	9	0	0	0	13	191	25	13.1
尿糖	186	0	0	3	1	0	0	0	14	190	4	2.1
尿蛋白	169	14	0	4	3	0	0	0	14	190	7	3.7
心電図	161	3	17	3	3	0	4	0	13	191	27	14.1

教員	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
総合判定	13	23	21	11	23	0	3	0	7	94	58	61.7
内科診察	93	0	1	0	0	0	0	0	7	94	1	1.1
聴力1KHz	90	0	3	0	0	0	0	0	8	93	3	3.2
聴力4KHz	88	0	5	0	0	0	0	0	8	93	5	5.4
胸部X線	76	14	1	0	2	0	0	0	8	93	3	3.2
血圧	71	10	1	8	3	0	1	0	7	94	13	13.8
貧血	72	15	5	0	2	0	0	0	7	94	7	7.4
肝機能	65	11	5	0	13	0	0	0	7	94	18	19.1
血中脂質	43	25	9	8	7	0	2	0	7	94	26	27.7
血糖	60	17	11	1	5	0	0	0	7	94	17	18.1
尿糖	91	0	0	2	0	0	0	0	8	93	2	2.2
尿蛋白	83	6	0	4	0	0	0	0	8	93	4	4.3
心電図	79	2	9	1	2	0	1	0	7	94	13	13.8

職員	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
総合判定	7	24	29	7	27	0	3	0	6	97	66	68.0
内科診察	93	0	3	0	0	1	0	0	6	97	4	4.1
聴力1KHz	94	0	3	0	0	0	0	0	6	97	3	3.1
聴力4KHz	94	0	3	0	0	0	0	0	6	97	3	3.1
胸部X線	76	16	2	0	1	0	1	0	7	96	4	4.2
血圧	73	12	0	8	3	0	1	0	6	97	12	12.4
貧血	69	13	11	0	4	0	0	0	6	97	15	15.5
肝機能	76	12	6	0	3	0	0	0	6	97	9	9.3
血中脂質	34	25	18	6	12	0	2	0	6	97	38	39.2
血糖	80	9	4	0	4	0	0	0	6	97	8	8.2
尿糖	95	0	0	1	1	0	0	0	6	97	2	2.1
尿蛋白	86	8	0	0	3	0	0	0	6	97	3	3.1
心電図	82	1	8	2	1	0	3	0	6	97	14	14.4

法定外項目 判定結果一覧(2020年度)

教職員全体	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
脂質代謝	56	46	33	11	28	0	17	0	13	191	89	46.6
糖代謝	115	46	20	1	4	0	5	0	13	191	30	15.7
貧血・血球	134	28	16	5	7	0	1	0	13	191	29	15.2
尿酸	140	1	7	2	1	0	2	25	26	153	12	7.8
胃部X線	23	20	5	76	5	0	0	0	75	129	86	66.7
便潜血	86	0	1	0	6	0	0	0	111	93	7	7.5
腎機能	147	26	6	7	3	0	2	0	13	191	18	9.4

教員	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
脂質代謝	31	22	14	5	12	0	10	0	7	94	41	43.6
糖代謝	48	27	13	1	2	0	3	0	7	94	19	20.2
貧血・血球	70	15	5	1	3	0	0	0	7	94	9	9.6
尿酸	73	0	4	2	1	0	1	0	20	81	8	9.9
胃部X線	13	11	3	0	5	0	0	0	69	32	8	25.0
便潜血	45	0	1	0	3	0	0	0	52	49	4	8.2
腎機能	73	11	5	4	0	0	1	0	7	94	10	10.6

職員	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
脂質代謝	25	24	19	6	16	0	7	0	6	97	48	49.5
糖代謝	67	19	7	0	2	0	2	0	6	97	11	11.3
貧血・血球	64	13	11	4	4	0	1	0	6	97	20	20.6
尿酸	67	1	3	0	0	0	1	25	6	72	4	5.6
胃部X線	10	9	2	76	0	0	0	0	6	97	78	80.4
便潜血	41	0	0	0	3	0	0	0	59	44	3	6.8
腎機能	74	15	1	3	3	0	1	0	6	97	8	8.2



≪2021年度 教職員の健康診断結果≫

教職員全体	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率
総合判定	13	32	56	15	43	5	38	0	11	202	157	77.7
内科診察	195	0	4	1	0	0	0	0	13	200	5	2.5
聴力1KHz	192	0	7	0	0	0	0	0	14	199	7	3.5
聴力4KHz	188	0	11	0	0	0	0	0	14	199	11	5.5
胸部X線	152	35	8	0	3	0	0	0	16	198	11	5.6
血圧	147	21	1	15	2	0	16	0	11	202	34	16.8
貧血	147	25	10	3	15	0	1	0	12	201	29	14.4
肝機能	153	21	10	0	14	0	4	0	11	202	28	13.9
血中脂質	58	43	45	19	23	0	14	0	11	202	101	50.0
血糖	108	51	30	3	6	0	4	0	11	202	43	21.3
尿糖	196	1	0	2	2	0	0	0	12	201	4	2.0
尿蛋白	177	20	2	2	0	0	0	0	12	201	4	2.0
心電図	157	10	25	2	1	1	4	0	13	200	33	16.5

教員	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率
総合判定	6	19	26	8	22	2	16	0	6	99	74	74.7
内科診察	95	0	2	1	0	0	0	0	7	98	3	3.1
聴力1KHz	94	0	4	0	0	0	0	0	7	98	4	4.1
聴力4KHz	93	0	5	0	0	0	0	0	7	98	5	5.1
胸部X線	74	20	3	0	1	0	0	0	7	98	4	4.1
血圧	71	10	0	6	2	0	10	0	6	99	18	18.2
貧血	72	16	1	2	8	0	0	0	6	99	11	11.1
肝機能	70	10	6	0	11	0	2	0	6	99	19	19.2
血中脂質	28	16	28	8	12	0	7	0	6	99	55	55.6
血糖	44	29	19	2	3	0	2	0	6	99	26	26.3
尿糖	97	0	0	1	1	0	0	0	6	99	2	2.0
尿蛋白	88	10	0	1	0	0	0	0	6	99	1	1.0
心電図	82	5	10	1	0	0	1	0	6	99	12	12.1

職員	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率
総合判定	7	13	30	7	21	3	22	0	5	103	83	80.6
内科診察	100	0	2	0	0	0	0	0	6	102	2	2.0
聴力1KHz	98	0	3	0	0	0	0	0	7	101	3	3.0
聴力4KHz	95	0	6	0	0	0	0	0	7	101	6	5.9
胸部X線	78	14	5	0	2	0	0	0	9	99	7	7.1
血圧	76	11	1	9	0	0	6	0	5	103	16	15.5
貧血	75	9	9	1	7	0	1	0	6	102	18	17.6
肝機能	83	11	4	0	3	0	2	0	5	103	9	8.7
血中脂質	30	27	17	11	11	0	7	0	5	103	46	44.7
血糖	64	22	11	1	3	0	2	0	5	103	17	16.5
尿糖	99	1	0	1	1	0	0	0	6	102	2	2.0
尿蛋白	89	10	2	1	0	0	0	0	6	102	3	2.9
心電図	75	5	15	1	1	1	3	0	7	101	21	20.8

法定外項目 判定結果一覽(2021年度)

教職員全体	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
脂質代謝	58	42	45	20	23	0	14	0	11	202	102	50.5
糖代謝	107	50	32	3	6	0	4	0	11	202	45	22.3
貧血・血球	147	25	10	3	15	0	1	0	12	201	29	14.4
尿酸	147	0	8	0	1	0	1	0	56	157	10	6.4
胃部X線	26	23	8	0	2	0	2	0	152	61	12	19.7
便潜血	104	0	0	0	4	0	0	0	105	108	4	3.7
腎機能	155	25	8	7	4	0	2	0	12	201	21	10.4

教員	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
脂質代謝	28	15	28	9	12	0	7	0	6	99	56	56.6
糖代謝	43	28	21	2	3	0	2	0	6	99	28	28.3
貧血・血球	72	16	1	2	8	0	0	0	6	99	11	11.1
尿酸	80	0	7	0	1	0	0	0	17	88	8	9.1
胃部X線	14	9	6	0	2	0	1	0	73	32	9	28.1
便潜血	58	0	0	0	1	0	0	0	46	59	1	1.7
腎機能	75	13	4	4	2	0	1	0	6	99	11	11.1

職員	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
脂質代謝	30	27	17	11	11	0	7	0	5	103	46	44.7
糖代謝	64	22	11	1	3	0	2	0	5	103	17	16.5
貧血・血球	75	9	9	1	7	0	1	0	6	102	18	17.6
尿酸	67	0	1	0	0	0	1	0	39	69	2	2.9
胃部X線	12	14	2	0	0	0	1	0	79	29	3	10.3
便潜血	46	0	0	0	3	0	0	0	59	49	3	6.1
腎機能	80	12	4	3	2	0	1	0	6	102	10	9.8

4. 検診所見

2020年度教職員健康診断の集計結果

胸部X線所見(2020年度)			
	教員	職員	計
治癒陰影	9	10	19
脊柱側彎症	2	3	5
胸膜癒着	0	1	1
結節影	0	1	1
肋骨骨折痕	0	1	1
肋軟骨石灰化	0	1	1
鎖骨骨折痕	1	0	1
浸潤状影	2	0	2
右下肺葉状影	0	1	1
線状・带状影	0	1	1
異物	0	1	1
心拡大	1	2	3
石灰化影	0	1	1
心臓偏位	0	1	1
陳旧性炎症	1	0	1
合計	16	24	39

心電図所見(2020年度)			
	教員	職員	計
完全右脚ブロック	1	2	3
不完全右脚ブロック	1	0	1
右室伝導遅延	1	0	1
高電位(高いR・深いS)	2	2	4
洞性徐脈	0	1	1
洞性頻脈	0	1	1
I度房室ブロック	0	1	1
心室内ブロック	0	1	1
低電位(四肢誘導)	0	2	2
T波異常	1	0	1
異常Q波	1	0	1
異常Q波・疑	1	0	1
QSパターン	1	0	1
ST低下	1	1	2
ST低下・軽度	1	0	1
ST上昇	2	2	4
左軸偏位	2	3	5
時計方向回転	1	0	1
右室肥大・疑	0	2	2
T波異常・疑	0	1	1
心室性期外収縮頻発	0	1	1
肺性P	0	1	1
合計	16	21	37

診察所見(2020年度)			
	教員	職員	計
皮膚病変	0	1	1
貧血	0	1	1
不整脈	0	1	1
合計	0	3	3

胃透視所見(2020年度)			
	教員	職員	計
萎縮性胃炎	2	1	3
胃潰瘍癒着	1	0	1
十二指腸潰瘍癒着	1	1	2
胃ポリープ	6	8	14
胃ポリープ疑	0	1	1
胃粘膜下腫瘍疑	1	0	1
胃下垂	0	1	1
逆流性食道炎	1	0	1
食道裂孔ヘルニア	0	2	2
化性胃炎	0	1	1
胃炎	1	0	1
胃潰瘍疑	4	0	4
胃底腺ポリープ	0	1	1
石灰化陰影	1	0	1
肝嚢胞	1	0	1
肝内石灰化	0	1	1
右腎石灰化	1	0	1
合計	20	17	37

2021年度教職員健康診断の集計結果

胸部X線所見(2021年度)			
	教員	職員	計
治癒陰影	0	2	2
脊柱側彎症	1	3	4
乳房術後	1	0	1
大動脈蛇行	1	1	2
左肺術後	0	1	1
開胸術後	0	1	1
心拡大	0	1	1
心拡大(軽度)	0	2	2
両上葉炎症性癒着	1	0	1
胸膜肥厚	0	1	1
右上肺野胸膜肥厚	0	1	1
両肺尖軽度胸膜肥厚	1	0	1
右肺野索状影	0	1	1
陳旧性肺病変	0	1	1
左下肺斑状影	1	0	1
合計	6	15	21

心電図所見(2021年度)			
	教員	職員	計
心室性期外収縮頻発	0	1	1
上室性期外収縮	1	0	1
心房細動	0	1	1
完全右脚ブロック	0	1	1
不完全右脚ブロック	1	1	2
左脚前枝ブロック	0	1	1
ST-T異常	0	1	1
非特異的ST上昇	1	0	1
陰性T波	0	1	1
左軸偏位(軽度)	0	1	1
左軸偏位	1	0	1
右軸偏位	0	1	1
反時計回転	0	2	2
左室高電位	0	1	1
高電位	0	1	1
洞性徐脈	0	1	1
洞性不整脈	1	0	1
低電位	0	1	1
左室肥大軽度	0	1	1
R波増高不良・減高	0	1	1
右室伝導遅延	1	0	1
下壁心筋梗塞疑い	1	0	1
合計	7	17	24

診察所見(2021年度)			
	教員	職員	計
不整脈	0	1	1
脂質異常症	1	0	1
脂肪肝	1	0	1
軽度肥満	0	1	1
心臓弁膜症	1	0	1
高LDLコレステロール	1	0	1
合計	4	2	6

胃透視所見(2021年度)			
	教員	職員	計
萎縮性胃炎	2	2	4
胃底部前壁ポリープ	1	0	1
胃底腺ポリープ	0	1	1
胃ポリープ	2	0	2
胆のうポリープ	1	0	1
食道ポリープ疑	0	1	1
胃穹隆部ポリープ	1	0	1
逆流性食道炎	1	0	1
食道裂孔ヘルニア	2	1	3
胃炎	1	0	1
慢性胃炎	1	1	2
幽門部たこぼろ胃炎	1	0	1
短距離バレット食道	0	1	1
バレット粘膜	1	0	1
肝石灰化	0	1	1
十二指腸炎	0	1	1
十二指腸憩室	1	0	1
左腎嚢胞	1	0	1
合計	16	9	25

## V ストレスチェックについて

2014年の労働安全衛生法の一部改正により、ストレスチェック制度を実施することが2015年12月から義務付けられ、本学では2016年度から実施している

### 2021年度の報告

- 【対象】 教職員（付属幼稚園も含む）
- 【受検期間】 2021年10月1日～10月15日
- 【実施方法】 株式会社セーフティネット ストレスチェック web 受検型を採用
- 【周知方法】 教職員ポータルサイトを使用し、複数回案内を配信

受検状況			
年度	対象人数	受検人数	受検率(%)
2021年度	189	176	93
2020年度	188	178	95
2019年度	187	167	89
2018年度	190	169	89
2017年度	185	167	90
2016年度	189	181	96

受検率については、90%前後で推移している。引き続き、受検案内に関する周知や勧奨を継続していく。全体としては、全国平均や同種平均よりストレスレベルは良好だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大及びこれに伴う制限、感染に対する不安や行動変容に伴うストレスなど影響が生じている可能性が考えられる。今後、資材を活用しつつ、セルフケア研修、ライン研修の実施も検討していく必要があると考える。

"

# VI. 保健室利用状況

## 1. 主訴別

		年度		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		合計	
		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																														
外科	打撲	0	0	0	0	1	0	0	3	0	1	1	1	3	2	2	1	1	0	0	0	0	1	1	9	9																			
	捻挫	0	1	0	0	0	3	2	0	1	1	1	0	0	1	2	0	3	1	0	0	1	0	1	2	11	9																		
	突き指	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	3																			
	骨折・脱臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2																		
	切創	0	1	1	0	0	0	1	3	0	0	1	0	6	0	1	3	3	5	0	2	9	0	0	1	22	15																		
	刺傷・虫刺され	0	0	0	0	1	2	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5	6																		
	擦過傷	2	2	0	0	0	2	2	3	0	1	1	0	0	1	5	7	2	0	2	0	0	0	0	1	14	17																		
	靴づれ	0	1	0	0	0	2	1	1	1	1	2	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	6	9																		
	熱傷	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	4	5																		
	筋肉関節痛	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	2	1	1	0	3	0	1	1	0	1	2	4	11																		
内科	胃腸症状(腹痛・嘔吐)	0	1	0	0	0	0	3	3	0	0	1	2	1	2	3	2	0	1	0	2	0	0	1	0	9	13																		
	感冒症状(発熱・咽頭痛)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	3	5																		
	頭痛	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	4	4																		
	気分不良(倦怠感・疲労)	0	2	0	3	0	9	2	11	1	2	1	3	13	8	4	6	3	4	2	3	0	0	1	1	27	52																		
	過呼吸	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2																	
他科 / その他	月経随伴症状	0	1	0	0	1	3	0	2	0	0	1	0	2	1	5	2	3	3	0	1	1	1	0	0	13	14																		
	皮膚・アレルギー症状	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1																		
	耳鼻科症状	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1																		
	眼科症状	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2																		
	口腔歯科症状	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1																	
	主訴その他	1	1	0	3	0	9	0	3	2	1	3	0	1	1	2	4	4	0	2	1	1	0	0	0	16	23																		
	健康相談	4	39	2	6	6	22	9	74	4	18	12	27	23	31	24	27	17	34	12	18	21	8	37	7	171	311																		
合計	7	52	3	12	10	59	24	109	10	27	27	33	55	53	49	55	44	55	20	33	34	9	42	18	325	515																			

利用内容	医療機関 紹介	1	6	0	1	0	3	0	15	0	1	1	0	3	4	9	5	2	5	1	2	1	1	2	1	20	44
	保健室 休養	1	5	0	2	1	14	6	17	0	4	3	6	15	10	13	7	5	8	3	7	1	1	4	0	52	81
	保健室 護送	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	3	0	2	3	1	0	1	0	0	0	0	1	0	4	12
	医療機関 搬送	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4	0	7

## 内科診療(校医診察)

	年度		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		合計	
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計														
健康診断	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	44	0			
一般診療	3	4	0	0	2	2	1	6	0	0	1	1	1	1	3	1	1	0	0	0	0	0	2	1	14	16		
ストレス面接	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 2. 学年別

	年度		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021	
	学年/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																
1年次	0	4	0	0	2	12	1	23	2	0	5	2	10	13	14	13	17	10	4	4	1	0	3	1	59	82				
2年次	0	3	0	3	0	10	0	23	1	6	1	5	4	8	8	18	4	18	1	7	0	0	3	2	22	103				
3年次	0	7	0	3	1	10	2	30	2	0	3	1	10	8	4	9	5	12	1	2	2	2	10	2	40	86				
4年次	1	3	2	1	1	5	5	12	3	9	5	8	19	8	12	7	7	5	4	10	0	3	1	4	60	75				
院生	0	0	0	1	0	3	0	3	0	3	1	1	1	3	1	2	0	1	0	0	0	2	0	1	3	20				
通信教育部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0				
科目等履修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
教職員	6	30	1	3	5	17	16	18	2	7	12	16	10	12	10	6	10	7	9	8	28	2	22	7	131	133				
合計	7	47	3	11	9	57	24	109	10	25	27	33	54	52	49	55	44	53	19	31	31	9	39	17	316	499				

## 3. 学科別

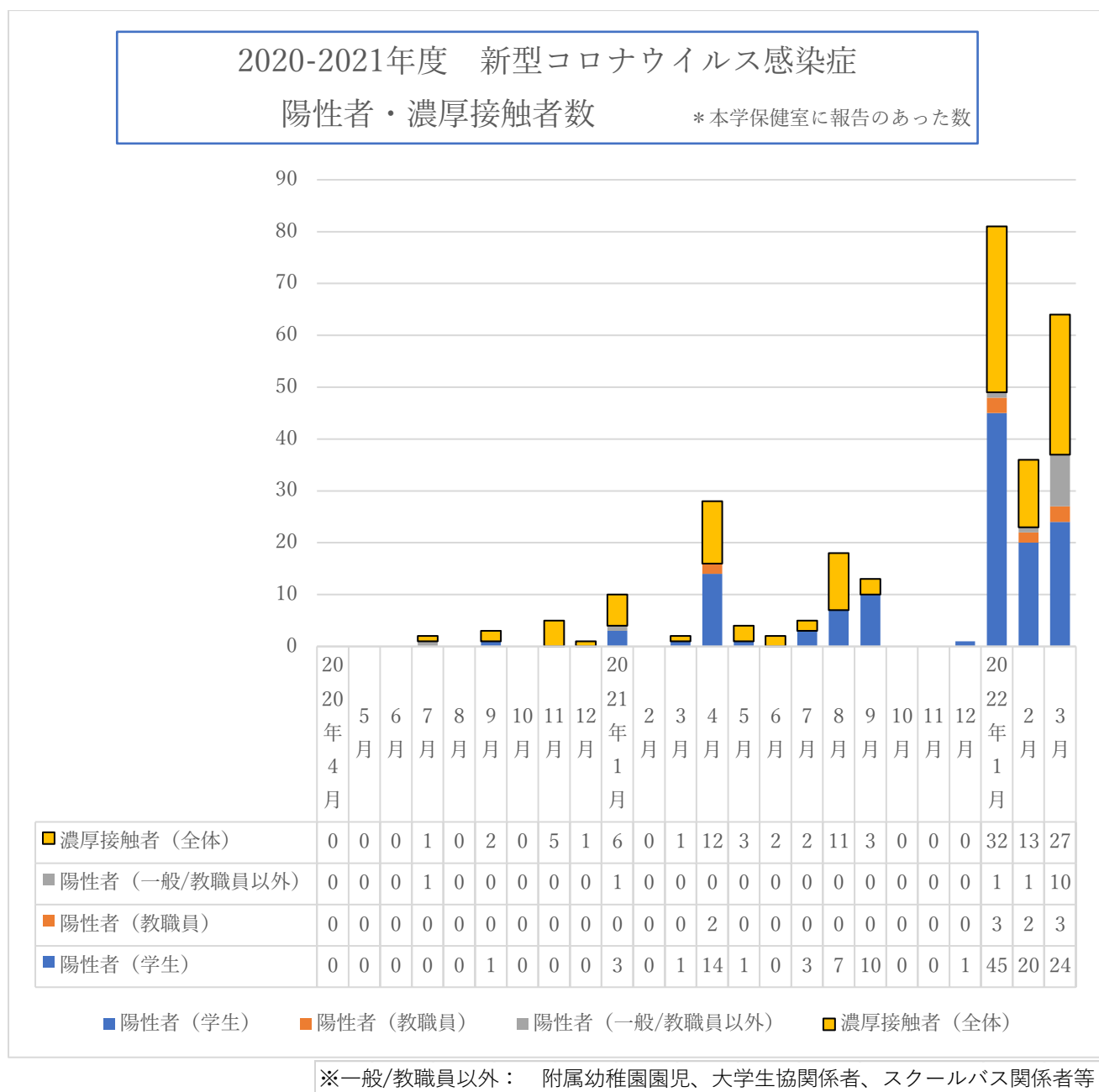
	年度		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021		2020		2021	
	学年/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																
児童教育	0	7	0	4	2	24	6	46	6	6	8	8	26	21	19	20	15	12	7	15	2	2	4	3	95	168				
総合文化	1	2	0	0	0	3	0	12	0	0	3	0	7	2	3	6	8	11	2	1	0	1	3	0	27	38				
心理	0	6	0	2	0	8	0	21	1	3	0	4	2	8	4	8	4	17	0	6	1	2	5	2	17	87				
福祉臨床	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	0				
ジュニアスポーツ教育	0	2	0	1	1	2	2	9	1	6	3	4	7	6	8	13	6	5	0	1	0	0	5	4	33	53				
院生	0	0	0	1	0	3	0	3	0	3	1	1	1	3	1	2	0	1	0	0	0	2	0	1	3	20				
科目等履修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0				
通信教育部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	1	17	2	8	4	40	8	91	8	18	15	17	44	40	39	49	34	46	10	23	3	7	17	10	185	366				

## VII. 健康診断証明書

### 健康診断証明書発行状況

年度	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	
学年	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
1年次	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3	
2年次	0	0	0	1	0	0	57	177	116	6	39	0	3	3	1	1	1	1	1	2	0	0	0	1	218	192	
3年次	0	0	0	1	0	1	86	85	84	9	4	1	1	0	0	0	9	1	8	1	0	3	9	12	201	114	
4年次	11	21	4	155	22	21	16	70	121	39	51	16	28	19	12	12	12	3	11	9	4	7	10	11	302	383	
院生	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	11	21	4	162	22	22	159	332	321	54	95	17	32	22	14	13	22	6	20	12	4	10	19	24	723	695	

## VIII. 新型コロナウイルス感染症の調査状況



2020年4月より新型コロナウイルス感染症に罹患及び濃厚接触者になった場合は、保健室へ報告するよう学生、教職員へ通知した。報告のあった者のうち感染者（新型コロナウイルス感染症罹患患者及びPCR陽性者）は、2020年度7名、2021年度は147名であった。

2年間の罹患報告推移をグラフに示す。濃厚接触者は、保健所で濃厚接触者と認定された者以外にも、流行期で保健所からの連絡が滞る時期もあり、保健室でほぼ全ての感染者に聞き取りをして、厚生労働省規定の内容で接触のあった学生、教職員を濃厚接触者と指定し登校、出勤の自粛を指示した例も含まれている。



## VIII. 学生相談室

室長：伊東真里

### 1. 学生相談室活動報告

#### (1) 学生相談室の体制

当学生相談室（以下、相談室と略記）は1980年に開室し、以来約40年間活動を行ってきた。開室以来1日4時間・週5日の在室体制であったが、ニーズの高まりを承けて、2012年度より時間外での予約受付を開始し、2014年度からは1日7時間・週5日の在室体制とした。2022年度からは学生数の減少に伴い、1日7時間・週3日の在室体制となり、現在に至っている。そうしたカウンセリング業務が中心であるが、学生からの来談を待つだけでなく、学生には「困ったときに相談できる場所」、その窓口となる場所としての位置づけを定着させるための取り組みとして、新入生のオリエンテーションでの室長とカウンセラーによる相談室の紹介、年に1.2回のイベント、年に2回の「学生相談室だより」の発行などを行っている。また、2020年より世界中に蔓延している、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、5月よりオンラインでのカウンセリングを開始した。こうした取り組みについては次項で詳述する。

2010年度以降は月1回の学生相談室専門部会を行うことで、他部署と相談室とが連携して学生サポートにあたるようになってきた。

さらに、2013年度より学生相談学会の会員となり、カウンセラーが年次大会や研修会に出席することで、学生相談に関する新しい情報・技法を獲得するように努力している。

#### (2) 活動内容

学生相談の業務は、学生を対象にした活動と教職員を対象にした活動に大別できる。ここでは、前項で言及した活動内容について昨年度、一昨年度の取り組みを中心にまとめる。

##### ① 学生対象の活動

###### i : イベント

相談室では2006年度より継続して年3回程度の学生を対象としたイベントを実施してきた。2016年度からは年に2回の実施となった。イベントの内容は、その都度さまざまなものを取り入れてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、2020年度から2021年度は年1回ずつ、個別対応での実施となった。その分、期間も3週間程度と余裕を持たせた。2020年度、2021年度のイベントで扱った内容を表1に示した。広報はポスターの掲示やホームページ、相談室だより等で行った。

TEGイベントは、大学という新しい環境での適応に悩みを抱えはじめる新入生や、就職活動の迫るなかで自分を見つめ直す必要を感じている学生に相談室の活動をより身近に知ってもらい、適切な支援につなげることを目的として実施している。またカウンセラーと学生が打ち解けて話すことにより、学生のもつ潜在的なニーズや相談室への期待を直接聞き取る機会としても活用している。

表1. 2020年度、2021年度における学生向けイベントの内容と開催月

	イベント内容	イベント名	開催月
2020年度	TEGイベント	心理テストで自分の性格をのぞいてみよう	10月
2021年度	TEGイベント	心理テストで自分の性格をのぞいてみよう	5～6月

ii：学生相談室だより

学生相談室だよりは、学生生活の中で身近で学生が関心を持ちやすいテーマを選び、心身の健康の啓発を目的としている。テーマの選択から内容の構成までをカウンセラーが担当し、年2回の長期休暇の前に発行している。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、特別版を臨時発行した。発行した際には校内の掲示板やホームページ等に掲載し、閲覧できるようにしている。この学生相談室だよりをきっかけに個別相談に訪れることもあるため、相談室周知の一役も担っていると言える。

## ② 教職員対象の活動

相談室では、2011年度より、6年間職員向けに年一回の講演会・講習会を行ってきた。これは、気になる学生の態度や応答への気づきや理解などの注意喚起、他部署との更なる連携の強化や教職員への相談室の周知を目的とし、相談室だけでなく大学全体で一人ひとりの学生を支えるための活動でもある。取り組みの結果、教職員への一定の周知が得られたことと、カウンセラーの勤務時間との兼ね合いの課題があり、講演会・講習会の定期開催は見送られることとなった。その後、2019年に「学生相談室のはたらき」～学生とカウンセラーとの関わり～と題し、前半に相談室の紹介や現状を伝え、後半に『考え方のクセ』をテーマに研修会を実施した。2021年度にはSD (Staff Development) 研修と位置づけ、「学生相談室からみえる学生たち 繊細な人・攻撃的な人への対応」というテーマでオンライン研修会を実施した。相談室の業務について直接周知する場となり、多くの意見、感想を頂き、新たな課題も見つかったため、相談室にとっても有益であった。

## 2. 相談室の利用状況について

2020年度、2021年度の学生相談の利用状況、および精神科校医との面接数について報告する。

### (1) 年間利用状況

表2に2020年度と2021年度の月別、学年別の来談者数をまとめた。相談室は通学生のみを利用対象としているため、本報告より、統計の項目から「通信」を削除した。また図1に月別の合計来談者数の推移を示した。

2021年度の合計来談者数は2020年度と比較すると2倍以上であった。2020年度は相談室の利用自体が少なかったが、中でも大学院生の利用が全くなく、2年次の利用も極端に少なかった。また、例年春休みになる2月以降は利用が減少するが、2月3月の利用が激増した。

2021年度は極端に利用の少ない学年はなかったが、他学年と比較すると1年次の利用が少なかった。

表2. 2020年度、2021年度の学年・月別来談者数

年度	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
学年/月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1年次	2	0	0	0	2	0	2	3	2	0	2	0
2年次	0	4	0	0	0	2	0	2	0	2	0	4
3年次	0	3	0	3	0	10	1	9	1	0	1	1
4年次	0	3	2	5	1	8	0	9	1	4	4	5
大学院	0	1	0	3	0	4	0	4	0	1	0	2
教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	11	2	11	3	24	3	27	4	7	7	12

2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
1	2	2	1	1	0	0	5	0	2	4	2	18	15
1	6	1	4	0	13	0	4	0	0	0	3	2	44
1	2	4	2	4	4	1	3	1	0	8	0	22	37
7	5	6	4	4	4	3	4	4	3	6	4	38	58
0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	20
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	15	13	13	9	24	4	16	5	5	18	9	80	174

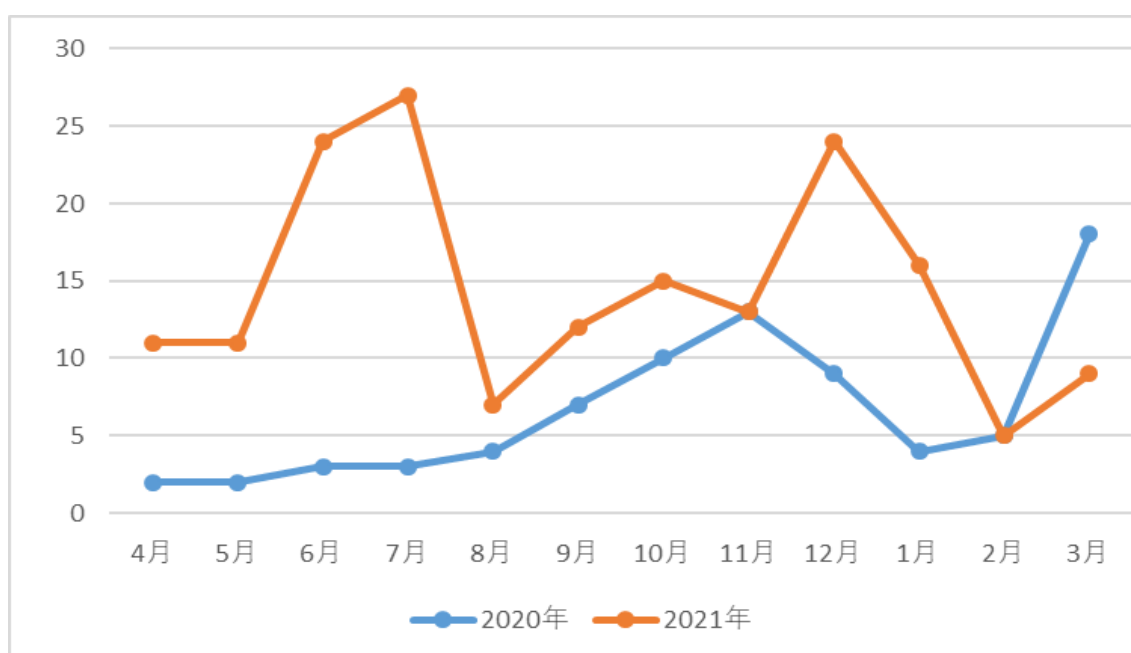


図1. 2020年度、2021年度の月別合計来談者数の推移

表3に精神科校医との面接状況を示した。精神科校医との面接は、学生から自発的に医師との面接を希望する場合と、必要に応じてカウンセラーから学生に医師との面接を促すことがある。面接件数として多くはないが、セーフティネットの観点からも精神科校医との連携を図ることは、非常に重要な意味を持っていると言える。

表3. 2020年度、2021年度の学年・月別精神科校医との面接数

年度	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
学年/月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1年次	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
2年次	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3年次	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
4年次	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0

2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5	4

(2) 相談主訴の分類および分類別割合

初回来談時の主訴を7つに分類し、表4に示し、2020年度、2021年度の来談時の主訴の割合を図2に示した。2020年度は例年と比較して、心身の健康状態、人間関係が主訴となる相談の割合が減り、履修・学業、進路に関する相談の割合が増加した。2021年度は履修・学業、進路に関する相談の割合が減少し、心身の健康状態、人間関係、その他に分類される主訴の割合が増加した。また複数の主訴が重なり合っている学生や、面接を重ねていくことで、当初の主訴が解消され、別の主訴で来室を続ける学生もいた。

表 4. 初回来談時の主訴の分類とその内容

A	自身の性格	心理的な問題(心的不適応、アイデンティティ)性格に関する相談
B	心身の健康状態	心理的あるいは身体面での健康上の問題に関する相談
C	人間関係	家族関係、友人関係、異性関係の相談
D	履修、学業	休学、退学、転学などの相談。学業上の相談
E	進路	進学や就職、その他の進路に関する相談
F	学生生活	クラブ活動、アルバイト、その他学生生活全般に関する相談
G	その他	上記に含まれないもの

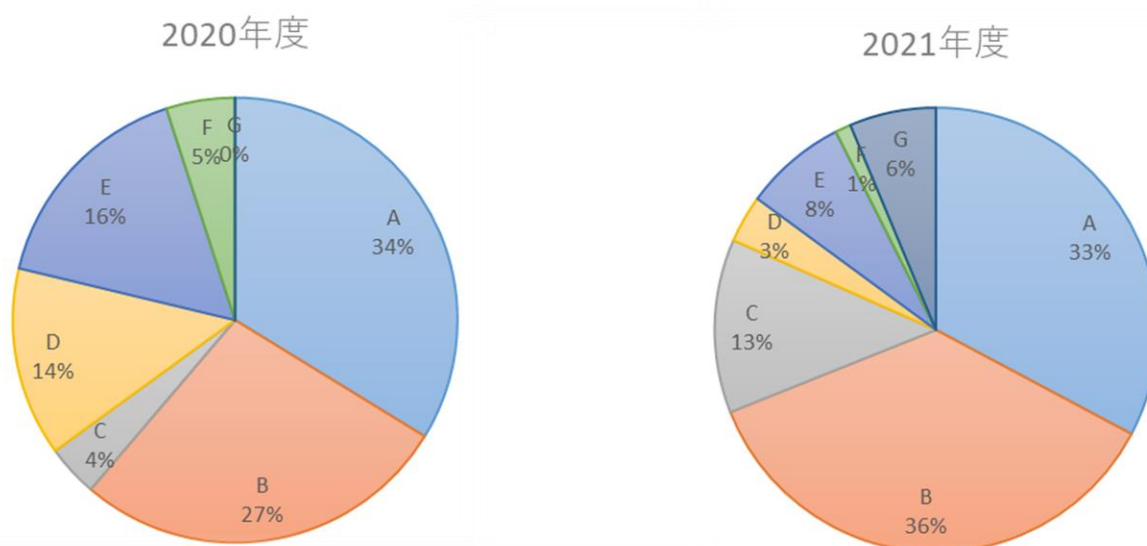


図 2. 2020 年度、2021 年度の初回来談時の主訴別割合

### (3) 来談回数ごとの学生数

表 5 に一人の来談者が継続して何度来談したかをまとめた。またこれを図示したものが図 3 である。2020 年度、2021 年度共に 1 回の来室が最も多かった。少数ではあるが、10 回以上来室している学生もいた。複数回来室している学生も様々で、予約を取って 2 週に一度、月に一度等、一定のペースで来室する学生もいれば、予約をせずに、空き時間や話したいと思ったときに直接相談室を訪れる学生もいた。また、複数のカウンセラーのところに来室する学生もいた。

表5. 2020年度、2021年度における  
来談回数ごとの学生数

回数	2020年度	2021年度
1	22	33
2～5	10	11
6～10	0	3
11～20	1	4
21～30	1	1
31～40	0	0

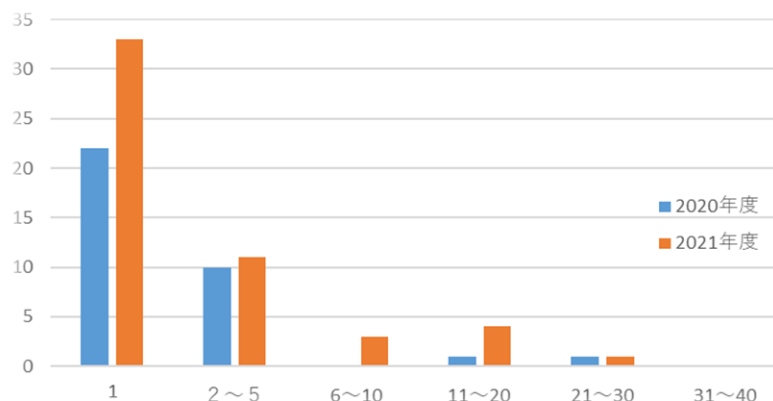


図3. 2020年度、2021年度における来談回数ごとの学生数

(4) 学科別来談者数と学科在籍者数に対する来談率

2020年度、2021年度の学科ごとの来談者数と学科在籍者数に対する来談率（以下来談率）を表6にまとめた。学部生の来談率に関して、2020年度は福祉臨床学科が最も高く、次に心理学科、総合（国際）文化学科、児童教育学科、ジュニアスポーツ教育学科と続いた。2021年度は心理臨床学専攻が最も高く、心理学科、総合（国際）文化学科、児童教育学科、ジュニアスポーツ教育学科と続いた。2020年度は、教育学専攻、心理臨床学専攻の学生の利用はなく、2021年度は福祉臨床学科、教育学専攻の学生の利用はなかった。2019年度より、福祉臨床学科の募集が停止されたため、母数が少なくなり、福祉臨床学科の来談率が増加した。また大学院も在籍者が少ないため、少数の利用で来談率が増加した。どの学科も学生数は減少しているが、2021年度の心理学科の利用人数、利用率は際立って増加した。

学部・院	学科	来談人数		来談率	
		2020	2021	2020	2021
文学部	総合(国際)文化学科	4	6	1.6%	2.7%
発達教育学部	児童教育学科	12	13	1.4%	1.7%
	心理学科	7	20	3.3%	9.3%
	福祉臨床学科	3	0	5.7%	0.0%
	ジュニアスポーツ教育学科	1	1	0.4%	0.4%
大学院	教育学専攻	0	0	0%	0%
	心理臨床学専攻	0	2	0.0%	18.1%

\* 2021年度入学生より心理学科は文学部心理学科に変更

表6. 2020年度、2021年度の学科別来談者数と学科在籍者数に対する来談率

### (5) 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響を検討するため、流行前の2018年度と2020年度、2021年度の月別合計来談者数を比較したものを図4にまとめた。

本学では2020年4月、緊急事態宣言の発令に伴い、大学への入構が禁止された。そのため、同年5月より、Zoomを用いたオンライン面接をスタートさせた。オンライン面接と対面面接の利用状況について表7にまとめた。2020年4月のオンライン面接、5月の対面面接は利用できなかったため、数に含まない。6月より一部で対面の授業が開始され始めると、対面での面接の希望者が徐々に増加していった。また、上述した図2から分かるように、主訴も例年とは違い、人間関係の項目が減少していた。

例年、授業期間は利用者が増加し、長期休暇等の授業があまり行われていない時期には利用が減少する傾向があった。遠隔授業となった2020年度は登校する機会が減少すると、利用者も減少した。しかし、2020年度の春休みはオンライン面接も可能になったからか、面接の希望が多く、例年よりも利用者が増加した。遠隔授業が減少した2021年度は2018年度と同じような来談者数の推移を示した。

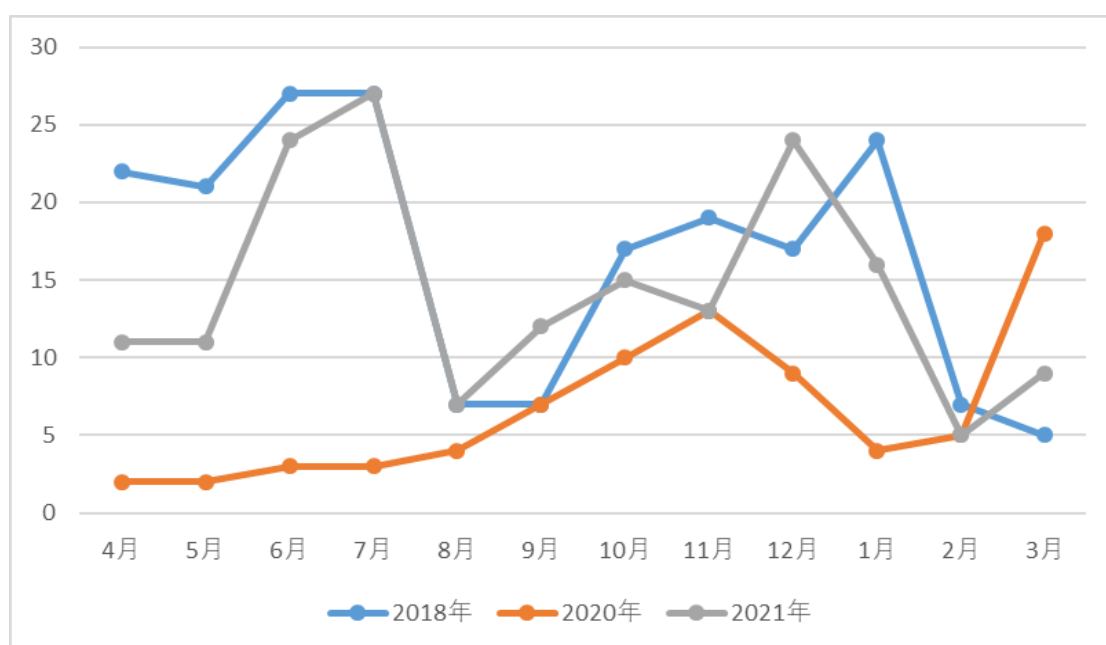


図4. 2018年度、2020年度、2021年度の月別合計来談者数の推移

2020	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
オンライン	—	2	1	2	1	1	0	0	0	1	3	8	19
対面	2	—	2	1	3	6	10	13	9	3	2	10	61
計	2	2	3	3	4	7	10	13	9	4	5	18	80
2021	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
オンライン	3	2	3	3	2	7	4	0	1	4	2	3	34
対面	8	9	21	24	5	5	11	13	23	12	3	6	140
計	11	11	24	27	7	12	15	13	24	16	5	9	174

表7. 2020年度、2021年度のオンライン面接と対面面接の利

### (6) 利用状況のまとめ

- ① 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で登校機会が減少し、それに伴って相談室の利用も大幅に減少した。2021年度では2020年度の2倍以上の利用があった。
- ② 相談内容の主訴は、「心身の健康状態」と「自身の性格」が多く、「人間関係」を1番の主訴として来室する学生が減少した。また、複数の主訴が重なっていることもみられた。2020年度はコロナ禍で見通しが立たなかったためか、「履修・学業」や「進路」について悩む学生も増加した。
- ③ 来談回数においては、1回のみや2～5回の来室が多く、10回以上来室する学生は少なかったが、増加傾向にある。
- ④ 2020年度は福祉臨床学科、心理学科の利用率が高く、2021年度は心理学科の利用がさらに増えた。
- ⑤ 例年、授業のため登校する時期は利用が多く、長期休暇になると利用が減少するが、2020年度の春休みは面接の希望が増え、長期休暇中の利用が増加した。

## 3. 考察および今後の課題

### (1) 新型コロナウイルス感染症の影響について

2020年度が他の年度に比べて来談者が少なかったのは、新型コロナウイルス感染症の影響だと考えられる。例年、長期休暇中に来談者が減少することから、遠隔授業等の登校する必要がない時期に自宅からカウンセリングのためだけに登校するとなると、来談意欲が低下したのかもしれない。また、オンライン面接ができるとはいえども、在宅勤務や休校で家族のいる自宅では、誰にも気づかれずに自身の悩みを相談するという環境が整わなかった学生もいるのではないだろうか。もとより、誰もが経験したことのない非常事態でストレスを感じる学生も多かったと思われるが、普段から相談室を意識していない学生にとってはそのような場合に「相談室を利用する」という選択肢がなかったとも考えられる。

また、ストレスはストレス体験からすぐに反応が出るとは限らない。うつうつと溜まっていたものが数か月後に環境の変化等をきっかけにして噴出することもあるだろう。そのような意味でもコロナ禍のストレスが噴出しはじめたのが、行動制限が解除された2020年の秋頃だったと思われる。2020年度の全国自殺者数も10月頃が最も多かったが、学生相談の希望も秋学期以降徐々に増加した。行動制限がかかっているうちは、“コロナ禍のストレスは皆同じ”という一体感があったが、行動制限がなくなって、仲間との外出やキャンパスライフを楽しむことが増えた学生と、新しい環境に馴染めなかったり、オンラインでしか繋がっていなかった友人と実際に過ごすことで“イメージと違うな”と感じたり、“自分だけが楽しくない”と取り残されたように感じる学生の差が如実に現れた形となったと考えられる。

主訴に関しては、遠隔授業が多かった時期は、「多くの授業でレポート課題が出ることで負担が多くなり、課題が終わらない」といった学業に関する相談や、「就職活動をどうしたらいいのか分からない」「面接がオンラインになって不安」「面接そのものがなくなってしまった」等、進路、就職に関する相談が増加した。普段であれば、ゼミ担当教員や授業担当の教員、キャリアセンターなど気軽に相談できていたであろうが、新型コロナウイルス感染症の影響でそういった機関に相談しにくくなってしまい、相談室に行きついたらと考えられる。対面授業が増え、登校する機会が増えてからは、そのような相談は減少し、例



年通りの「人間関係」や「心身の健康状態」等の主訴が増加した。

このようにコロナ禍の生活の変化は、学生達の悩みに多くの影響を及ぼすと考えられる。

## (2) オンライン面接について

上述したように、本学では2020年4月、大学への入構が禁止となり、5月より、Zoomを用いたオンライン面接をスタートさせた。相談室のカウンセラーは全員非常勤で、なおかつ半分以上メンバーも入れ替わった直後で突然の在宅勤務になったため、手探りでオンライン面接の準備を進めることとなった。準備が整った時点で、大学ホームページや各ゼミの指導教員より学生に周知してもらったが、予約はほとんどなかった。6月に一部対面授業が開始され始めると、対面での相談は増え始めたが、オンライン面接の希望者は減少していき、夏休みにはオンライン面接の希望者はほぼいなくなった。しかし、同年度の春休みには利用希望が増加し、普段ならケースが中断したり、終結したりする時期でも自宅から気軽に相談ができるため、そのまま継続することができた。

オンライン面接には、感染症対策における安全性や手軽さ等のメリットがある。しかし、カウンセラー側がハード面、ソフト面を整えることに苦慮したように、学生側も苦慮したと考えられる。中でも「安心して話せる場所」は難しかったと思われる。家族や友人についての困り感を、家族のいるリビングや友人が隣に住んでいる環境で安心して話すことは困難に近い。インターネット環境がリビングにしか整っていない学生、自室がない学生は相談したくてもできなかつたと思われる。実際、自宅からの相談が困難なため、登校して相談したいという申し出もあり、学生の希望を叶えることができなかった。また、通信設備の都合で、面接中に音が途切れて何度も聞き返す必要があったり、通信そのものが中断してしまったりと、もどかしい思いをすることもあった。加えて、対面でしか伝わらないものもある。例えば画面越しでは生の雰囲気や表情が伝わらず、それを表情や言葉でカバーする必要がある。画面越しで会った時と対面で会った時の印象が異なることもあり、それは学生側にとっても同じであろう。

しかしオンライン面接だからこそ、つながることのできた学生もいた。集団が苦手な学生、登校しにくい学生には、安心できる自宅から気軽に相談できる環境を提供することができ、継続するケースもあったため、オンライン面接自体の効果はあったと言える。

## (3) 今後の課題

今年度は3名の非常勤カウンセラーが他機関との勤務を掛け持ちしながら勤務しており、カウンセラー全員が顔を合わせる機会は年に数回しかない。また昨年度とは違い、今年度は週2日閉室している。そのため、勤務日にできる業務は限られている上に、学生側にも状況によっては相談する曜日や時間の制限をかけざるを得なくなってしまう。よりよい学生への支援を提供するためにも、今まで以上に教員や関係部署との連携と協働が必要となってくるのではないだろうか。

加えて、新型コロナウイルス感染症の影響で、本学においてオンライン化が急速に進み、対面授業とオンライン授業の組み合わせが普通になってきた。2021年度入学生からは対面授業でもパソコンが必須となっており、この流れは当面の間続くと考えられる。相談室においても、対面面接とオンライン面接を並行することが当面の間、必要とされるのではないだろうか。そのためには、より学生にとって有益な支援は何かと常に検討し続ける必要がある。

#### 4. おわりに

学生相談は、カウンセラーが共に相談者の問題を考える中で、学生が本来自分で持っている力に気づき、自分の歩みを選択し進んでいくことを援助している。そのために2年間の振り返りは、相談室の現状をお知らせするとともに、現在の実態を知ることを通して、改善点を見つけ、これからの日々の相談活動につなげていくことができる視点を与えてくれるものになっている。多様化している悩みを持つ学生に対して幅広い支援ができるよう、通常の業務だけでなく、研修や学会等に参加し、自己研鑽することで、カウンセラーがスキルアップし、相談室としてより学生に寄り添った支援の充実を図っていきたい。

## 保健管理報告 第20号

発行日 2022年11月

発行所 神戸親和女子大学

学生サービスセンター事務局

学生担当 保健室

〒651-0011

兵庫県神戸市北区鈴蘭台北町7丁目13-1

TEL 078-591-3790